

「税について考える授業」 を行うにあたって

－ディスカッション編・対話編－



日本税理士会連合会

令和元年7月1日更新版

I 本章について

租税教育の目的は、租税に関する知識の学習はもちろんのこと、単に知識を習得させることに留まるのではなく、その知識を基に考え実践する学習を行い、税の制度や政治、社会の仕組みに興味を抱かせ、税を通して社会を考えることによる民主主義の理解や主権者としての社会参画意識を育むことです。

この租税教育の目的を実現するためには、税金の集め方・使い方や財政、少子高齢社会の課題など、受講者の学習進度に合わせた題材を選択し、「税」を通して考える力を養っていく授業を行うとよいでしょう。一方的に知識を与えて理解させるだけではなく、児童生徒学生に自ら考える機会を授業の中で設けることで、疑問・不満などの様々な感情を喚起して、社会についての主体的な思考を深めるきっかけとしてください。

本章では、上記のような授業の実施の参考とするため、授業を組み立てるにあたってのモデルや講義内容案、ディスカッションのテーマの例を紹介していますので、ぜひご活用ください。

II 参考モデル集

1. 授業組み立てモデル

1. 50分授業モデル（高校生など）

① 『租税教育講義用テキスト（第7章高校生《講義型》）』を活用 —ディスカッション編—

| | 項目 | 時間 | 内容 |
|---|----------------|-----|--|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 10分 | ディスカッションを行うにあたり『租税教育講義用テキスト（第7章）』の必要な部分を講義 |
| 3 | グループディスカッション | 20分 | グループに分かれて一つのテーマについて討論 |
| 4 | 発表 | 10分 | 代表者が発表 |
| 5 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 8分 | 講師よりひとこと ・ディスカッションについて ・税理士について簡単に紹介 |

※ ディスカッションを行う際の生徒の役割分担： 司会者、書記、発表者

② 『租税教育講義用テキスト（第7章高校生《講義型》）』を活用 —対話編—

| | 項目 | 時間 | 内容 |
|---|----------------|-----|--|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 25分 | 税に関する基礎知識について『租税教育講義用テキスト（第7章）』の必要な部分を講義 |
| 3 | 対話 | 15分 | 講師と生徒の対話 |
| 4 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 8分 | 講師よりひとこと ・対話の内容について ・税理士について簡単に紹介 |

③ 『大学生向け講義用テキスト（標準版）』を活用 —対話編—

| | 項 目 | 時間 | 内 容 |
|---|----------------|-----|---|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 25分 | 対話を行うための前提知識としてテキストの必要な部分を講義 |
| 3 | 対話 | 15分 | 講師と生徒の対話 |
| 4 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 8分 | 講師よりひとこと ・対話の内容について ・税理士について簡単に紹介 |

2. 90～100分授業モデル（高校生2コマ、大学生など）

高校生に2コマ（50分×2＝100分）の授業で行う場合は、残り10分はアンケート記入時間や休憩時間とするとよいでしょう。

① 『租税教育講義用テキスト（第7章高校生《講義型》）』または『大学生向け講義用テキスト（標準版）』を活用 —ディスカッション編—

| | 項 目 | 時間 | 内 容 |
|---|----------------|-----|--|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 45分 | ディスカッションを行うにあたり、テキストの必要な部分を講義 |
| 3 | グループディスカッション | 25分 | グループに分かれて一つのテーマについて討論 |
| 4 | 発表 | 10分 | 代表者が発表 |
| 5 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 8分 | 講師よりひとこと ・ディスカッションについて ・税理士について簡単に紹介 |

② 『租税教育講義用テキスト（第7章高校生《講義型》）』を活用 —確定申告書記入—

| | 項 目 | 時間 | 内 容 |
|---|----------------|-----|---|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 43分 | 税に関する基礎知識について『租税教育講義用テキスト（第7章）』の必要な部分を講義 |
| 3 | 確定申告書記入（還付申告） | 15分 | 『租税教育講義用テキスト（第7章）』の確定申告に関する部分を活用して実践 |
| 4 | 対話 | 20分 | 講師と生徒の対話 |
| 5 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 10分 | 講師よりひとこと ・対話の内容について ・最近の税にまつわる動き ・税理士について簡単に紹介 |

③ 『大学生向け講義用テキスト（標準版）』を活用 —ディスカッション編—

| | 項 目 | 時間 | 内 容 |
|---|----------------|-----|---|
| 1 | あいさつ・自己紹介 | 2分 | 今日の授業の目的と自己紹介 |
| 2 | 講義 | 43分 | ディスカッションを行うにあたり、テキストの必要な部分を講義 |
| 3 | グループディスカッション | 20分 | グループに分かれて一つのテーマについて討論 |
| 4 | 発表 | 10分 | 代表者が発表 |
| 5 | 授業のまとめ・アンケート記入 | 10分 | 講師よりひとこと ・対話の内容について ・最近の税にまつわる動き ・税理士について簡単に紹介 |

2. 講義内容とディスカッションのテーマ

①税金とは何か

講義内容 = 納税の義務、財政と租税の役割、財政の現状、税金の使い道・使われ方、日本の税制の歴史・変遷

テ ー マ = 税金は必要か、税金は誰が負担するのか、社会保障を維持するためにはどうすればよいか、日本の歳入・歳出についてどう思うか、税金の使われ方について、少子高齢化の国民負担について

②申告納税制度

講義内容 = 申告納税制度概要、採用理由、確定申告の仕方・仕組み、源泉徴収制度と年末調整、源泉徴収票の見方

テ ー マ = 税金を自分で計算して納めることについて、税金は納めるのか取られるのか

③租税法

講義内容 = 租税法律主義、租税公平主義、応能負担の原則、税の三原則

テ ー マ = 税の三原則とは、公平な税負担とは、応能負担とは、租税正義とは

④具体的な税金の種類

講義内容 = 直接税と間接税、法人税、所得税、相続税、消費税など

テ ー マ = 消費税は上げるべきか下げるべきか、消費税の逆進性とは、単一税率と複数税率、水平的公平と垂直的公平、直間比率とは、相続税は必要か

⑤税制の国際比較

講義内容 = 日本と外国の税制の比較・相違点

テ ー マ = 社会保障が良ければ税負担率は高くてもよいと思うか（例：スウェーデンは高負担・高福祉）、日本の目指すべき方向は？、日本の税金は高いか安い